

平成26年度土地開発公社決算の概況

第三セクター等の抜本的改革による相当の成果があるものの、引き続き、効率化・経営健全化を図ることが必要

- 市町村における財政リスクを減少させるため、H24年度以降、第三セクター等改革推進債の活用等により9公社が解散。
- 県内の市町村土地開発公社の長期保有土地は減少。
- 公社の借入金に対する市町村の債務保証額は減少。

・解散した公社(※有田市及び有田川町以外は第三セクター等改革推進債を活用して解散)

平成26年度 1公社(有田川町)

平成25年度 5公社(和歌山市、海南市、御坊市、かつらぎ町、九度山町)

平成24年度 3公社(有田市、橋本市、新宮市)

・解散を検討している公社 1公社(白浜町)

・当面存続する公社 6公社(田辺市、紀の川市、岩出市、紀美野町、日高川町、串本町)

■長期保有土地(5年以上)の状況

〈平成26年度末の土地保有の状況〉金額ベース 47億84百万円(対前年度 ▲17.7%、▲10億30百万円)

〈長期保有土地(5年以上)の状況〉金額ベース 35億27百万円(全体に占める割合は73.7%)

■債務保証額の状況

〈平成26年度末の債務保証額の状況〉 13億45百万円(対前年度 ▲11.2%、▲1億69百万円)

〈債務保証がある団体〉

・紀の川市 債務保証額:10億円/標準財政規模:183億20百万円 5.5%

・白浜町 債務保証額:3億45百万円/標準財政規模:70億86百万円 4.9%

平成26年度第三セクター決算の概況

- 市町村から損失補償を受けている法人は2法人。
- 法人が破綻した場合に、市町村に多額の財政負担が発生するため、損失補償の縮小に向けた取り組みを進めることが必要。

□市町村から損失補償を受けている法人

・ 白浜医療福祉財団	損失補償額	<u>3億91百万円（対前年度 ▲66百万円）</u>
・ 白浜観光自動車道	損失補償額	<u>24百万円（対前年度 ▲6百万円）</u>

□経常赤字額の大きい法人

- ・ 九度山町柿の里振興公社
経常赤字額 11百万円
（前年度は11百万円の赤字）
- ・ 和歌山地域地場産業振興センター
経常赤字額 10百万円
（前年度は10百万円の赤字）

□債務超過法人

- ・ 債務超過法人なし

◎第三セクターの状況

区分 年度	法人数	経常黒字 法人	経常赤字 法人	債務超過 法人	損失補償 を受けて いる法人
H26	33	20	13	0	2
H25	36	21	15	0	2
対前年度	▲3	▲1	▲2	0	0

※県内市町村の出資割合が25%以上の法人を対象としています。
（複数の地方公共団体の出資割合の合計が25%以上の法人を含みます。）